

## 平成 28 年度昭島市障害者地域支援協議会活動報告

昭島市障害者地域支援協議会は新たな会議体として発足して 1 年が経過しました。

昭島市における障害者施策の課題について、学習会、見学、協議会の議論を通して明確にし、地域生活支援拠点については、全体の課題と学習会を組織、プロジェクトチーム（以下「拠点 PT」）を立ち上げて、昭島市における障害者施策の課題を明確にさせるべく実践的に取り組んできました。

また各専門部では就労部会での取組で、初めて昭島市庁内実習の実施を具体的に支援することで実現、市民向けの差別解消パンフレットは不十分でも作成に至り、就労、相談案内パンフレットの実現化など実践をとおして、昭島市に政策提起し実現してきています。

さらに、予算の積算を、専門部会が行い、平成 29 年度予算に一定の予算措置が実現できました。これらの取組みで昭島市障害者地域支援協議会としての役割を果たすことができました。

なお、会議開催状況、詳細については、下記のとおりです。

### 記

#### ○昭島市地域支援協議会(全体会)

開催日程：第 1 回平成 28 年 7 月 12 日

第 2 回平成 28 年 11 月 17 日

第 3 回平成 29 年 2 月 17 日

議事内容等：

- (1) 各専門部会報告(会議開催状況、内容【地域協議会資料 No3 参照】)
- (2) 昭島市職員の障害者差別解消法対応マニュアルについて
  - ・研修を含めて職員への周知を徹底させ実効あるものにするよう要望した。
- (3) 第 5 期昭島市障害福祉計画策定に伴う事業所等へのアンケート調査について
  - ・障害者団体、事業者へのヒアリングを要望するが、時間等の問題があり、アンケートを実施することになり、アンケート項目について、修正意見を入れ実施することを了解するが、ヒアリングの必要性を主張、今後も継続して当事者団体等へのヒアリングを要望した。
- (4) 地域生活支援拠点等の整備について
  - ・第 4 期昭島市障害福祉計画に重点目標とされている、地域生活支援拠点等の整備については、昭島市障害者地域支援協議会主催で、2 月 1 日に開催された「障害者地域生活支援拠点等学習会」の開催状況について報告し、地域生活支援拠点としてのあるべき機能について、「拠点 PT」を中心に昭島の現状と課題について検討、提言していくことを了解した。
- (5) 専門部会等の活動費について
  - ・平成 29 年度専門部会等の予算の取り扱いについては、市の執行方式の報告に異論がなかった。さらに平成 30 年度の専門部会等の予算の取り扱いについて「市の執行方式」と「委託方式」の提案に対し、発言した委員からは、「市の執行方式」がいいとの発言が全てであったが、今回の地域支援協議会で決定せず 4 月の事務局会議へ報告、再度議論し、その後、地域支援協議会全体会で決定することとした。
- (6) 平成 29 年度協議会等の運営について
 

29 年度の全体会・事務局会議のスケジュール

「拠点 PT」があるので 7 月に中間報告・10 月までには最終提案などが必要のため、柔軟に対応していく。9 月に推進協議会委員と地域支援協議会委員との懇談会を行うこととしている。
- (7) 障害者差別解消法パンフレットについて
 

昨年 12 月から「市民向け障害者差別解消法パンフレットプロジェクトチーム（以下「差別解消 PT」）を立ち上げ不十分ながら作成することが出来た。今後更に修正し、4 月に完成を目指し、市民向けに配布することとしている。

○事務局会議 (昭島市地域支援協議会で議論すべき内容について意見調整の会議)

開催日程：第1回平成28年6月2日

第2回平成28年7月19日

予算についての打ち合わせ：平成28年9月7日

第3回平成28年10月13日

第4回平成平成28年12月22日

第5回平成29年1月31日

内容等：・各専門部会報告

・全体会への協議内容についての討議

・各専門部会への予算計上の考え方について

・各専門部会の活動費に伴う予算について

・第5期昭島市障害福祉計画策定におけるアンケート調査について

・地域生活支援拠点等について（学習会・プロジェクトチーム立ち上げについて）

・差別解消法パンフレット作成について（プロジェクトチーム立ち上げについて）

・平成29年度協議会等の運営について

○専門部会 再掲 会議開催、内容については【地域支援協議会資料 No4 参照】)